

下田南小学校が閉校して1年… 校舎の利活用を検討するため… 先進地研修会を開催

下田南地区振興会だより 会報 小田床

■発行 第33号■
【発行責任者】
下田南地区振興会
会長 中村敬司
【連絡先】
下田南地区コミュニティセンター
42-3612

2月2日(日)、先進地研修を開催しました。今年度は、地域住民全員を対象に参加者を応募し、私たちの母校である、旧下田南小学校校舎の利活用を検討するため、学んできました。地域の中心にあり、シンボルでもある下田南小学校の校舎は、現在、活動を停止し静かに私たちを見守っています。この立派な校舎を後世に残すため、またこれからの地域の発展に向けて、私たち一人ひとりが考えていかなければなりません。



閉校後、村営で改修され復活した「旧一勝地第2小学校」の校舎。山間の中腹に、「田舎の体験交流館 さんがうら」と名称を変え、外見は当時の校舎そのままの様子で、運営されております。

【参加者からの声】

「田舎の体験交流館 さんがうら 研修の旅」

2月2日(日) 振興会主催の先進地研修で、球磨郡球磨村の閉校となった小学校校舎を利用した、「田舎の体験交流館 さんがうら」の研修及び見学会に家族で参加してきました。閉校後の学校を如何に価値ある形で利用することができるか、今下田南の大きな課題です。

「さんがうら」は、県内外より企業や学校の会議、研修、宿泊は勿論、一般の方の利用も受け入れているそうです。自然の中での里山体験や農林体験を通じて、地域に暮らす人々の新たな交流の場となっていました。研修の場ではいろいろなアドバイスをいただきました。地域の皆さんの声を受け入れて、大切な下田南小学校校舎の新たな姿を皆さんの力で作っていかねばならないと思います。最後に白石金市さん、一日お世話になりました。

【関 好江】



富永施設長、職員さんと一緒に記念撮影。この写真は、「さんがうら」さんホームページでも掲載されております。アドレスはこちら↓携帯からもOK
<http://www.kmbb.jp/sangaura/index.htm>



今回の研修で、講師をお務め頂きました。「さんがうら」施設長の富永敏夫さん。分かりやすい説明で、宿泊施設となった経緯や、管理運営についてお話いただきました。

「先進地研修に参加して」
何年ぶりの振興会視察研修にうきうきして参加しました。研修先である、球磨村の旧一勝地第二小学校が閉校した跡地に、村が整備した「体験交流館 さんがうら」は、宿泊施設として改修するのに約6千万円以上かかったとのことでした。下田南小の跡地利用も、国の補助金等を活用して、公設・公営の施設を考えていただければと思います。これも、地域の皆さんが心をひとつにして取り組まなければ、何事もできないと痛感しました。
誰でも参加できて今回のような実のある研修を、今後とも計画していただければと思います。

【上野和生】

叫べ！おねっぽっぽ



家内安全 厄よけ祈願



1月7日（火）に旧下田南小グラウンドで、地域づくり部会をリーダーに、鬼火焼を開催しました。準備は5日（日）に行い、同部会員と共に私たち地域住民も参加しました。やぐらを組むのにあっちこっちど



っちとベテランたちが試行錯誤しながら進めていきます。最終的にはソッチで落ち着きましたが（笑）

7日午前9時に火入れし、しめ飾りや門松、神仏に供えた松竹梅などを燃やし、魔除けとなる「焦げた松の枝」を残り火で作成し、持ち帰る人もいました。

大人たちに交じて小学生が3人、全体で30人くらいの方々が参加されました。最後は残り火でお餅を焼いて、ぜんざいとお神酒で食を楽しみました。
【中村昭廣】

↑濱崎さん手作りの美味しいぜんざいが、参加した皆さんに振る舞われました！

下田南 一足早い春を満喫ウォーキング大会

参加者総勢62名、たくさんの参加者に恵まれ、3月16日（日）、下田南ウォーキング大会を開催しました。朝は肌寒さも感じられましたが、曇り空から次第に晴れ空に変わり、一気に春の陽気を感じさせる天気になりました。

8時50分、開会式のあと、はりきりコースとゆったりコースが一斉にスタート。はりきりコースは例年より2キロほどコースを延長し、峠まで登り切ったの往復に変更。皆さん、「登り坂・下り坂」を汗ばみながらも、思いワで楽しく散歩されていました。最後はお楽しみの抽選会へ。空くじ無しの「高級実用賞品!？」をゲットされ、今年度、振興会最後の行事となりました下田南ウォーキング大会を無事終了しました。

ご参加いただきました皆さん、それからスタッフの皆さん、大変お疲れ様でした。
【鬼海広明】



今年は無言の誓い実施（右上）抽選会では、軍手や洗剤から料理用IHヒーターまで多種多様（上）尾崎へ向かう折り返しの峠で暫しの休憩タイムです！（下）



平成26年度 レクリエーション大会を開催します！

皆さん、こんにちは！振興会事務局の田口です。本コーナーでは、現在、検討中のレクリエーション大会（旧総合運動会からの引き継ぎ事業です。でもただの運動会ではありません！誰もが参加できて楽しめるような競技を目指します！）について、皆さんにお知らせいたします。

【わかりやすく箇条書きで予定をお知らせします】

- ・日 程・・・平成26年6月22日(日) ※日程は役員会で了承済みです
- ・場 所・・・下田南運動広場（雨天時は下田南体育館で実施します）
- ・内 容・・・予算80,000円、トラック内競技で誰でも参加できるもの
午前中で終了予定です

- (競技内容)
- | | | |
|------------|-------------------------|---------|
| ①パン食い競争 | ②ひもつなぎ競争 | ③陣取りゲーム |
| ④小田床音頭 | ⑤O×ウルトラクイズ | ⑥キックで一発 |
| ⑦コンテナ玉入れ競争 | ⑧夫婦道 | ⑨お玉レース |
| ⑩ニアピン大会 | 以上、10種目（詳細は新年度で再度検討します） | |

- ・その他・・・参加人数も減少していることから、区によっては、同じ人が何回も出場しなければならない状況であるため、例えば赤組（中央区）、白組（鬼海区・佃浜区）として2組体制で出来ないかという意見もあります。今後、検討いたします。

楽しいレクリエーション大会にするため、
色々なご意見をいただくと幸いです！
みんなでつくり上げていきましょう！

写真は、平成23年度総合運動会「ひもつなぎ競争」の様子。白石さん(左)とエリック先生(右)が競争しています！ →



旧下田南小学校舎の活用について

築15年を迎えた旧下田南小学校の校舎も、子どもたちの元気な声が聞かれなくなり丸1年を過ぎようとしています。木造の立派な校舎は今もなお、地域のシンボルとして、私たち地域の中心地に佇んでおります。

現在、天草市から「第1期施設の整理・統廃合基本計画」に基づき、市有財産（旧下田南小学校舎も含まれます）の有効な活用を推進するため、土地・建物について、活用計画が募集されています。これは、地元地域や公共的な団体等が公共又は公益事業の用に利用される場合について、優先して市から譲渡又は貸付が行われるというものです。振興会では、昨年に旧下田南小学校跡地検討委員会（以下、検討委員会）を発足させ、その活用について検討を重ねてまいりましたが、市が提案する「下田南地区（天草）市有財産の活用計画募集要領」（以下、「要領」これは今年1月に示されました）に従って検討を進めていく中で、地域が運営していくという前提で検討すると、非常に厳しい内容のものであることがわかりました。例えば、土地・建物の無償貸付を受ける場合、今回の「要領」から行くと、区や地区振興会は優先的に貸付を受けることができますが、「最低10年間は継続して事業を行うこと」、その事業内容は「公共的事業の用に供するとき」という条件が付けられています。この「公共的事業」が、どのような事業になるのか、市に問合せを行いました。明確な答えがありません。また、校舎の維持管理費には百万円を超すお金が必要となり、「公共的事業」でいかほどの維持費が上面できるのか検討もつきません。

3月6日、私たち検討委員会では市に対する「意見書」をまとめ、同月10日に、市へ「意見書」を提出、意見交換をいたしました。市も平成26年度では、更に、この市有財産活用計画について検討を重ねていくということですが、市からの交付金・補助金制度等の支援について切望するところです。私たち地域も、過疎化が進行している中、目的を持って校舎を活用することが、補助金等、支援を受ける上で必要となります。検討委員会では、地域が活性化していくような校舎の活用について、今後も検討を重ねてまいります。

会報「小田床」を 配布(配信)します



昨年の下田南小学校閉校記念事業では多くの方から、寄附金などをいただき、またご参加いただいた出郷者の皆さんからも「来て良かった」と感動の声をいただきました。閉校記念事業による寄附金等の収支残については、地域の為に活かしていくということで、振興会に託されたところです。そこで、この財源を基に、閉校記念誌を希望された方を対象に、本会報誌を出郷者の皆さまへ送ることを役員会で決定しました。

「小田床」で故郷の事を想って下さることは、私たちにとっても嬉しいことであり、過疎が進みこの地域が限界集落となって衰退しないためにも、故郷を離れて暮らされる皆さんと、この「会報誌(お便り)」でつながりができる事は素晴らしい、更に皆さまからの声をお聴きすることができれば、今後の紙面や地域の活動に生かせるのではないかと考えています。財源の事もありますので試験的に1年間行い、その後の状況により発展して行けたら良いのではと思っています。

出郷者の皆さまへぜひぜひお楽しみ！
【編集】 中村敬司

県内初の「マリンマイスター」に濱崎悠花さん選ばれる!



濱崎さんは、今年度実施された、食品技能コンテスト全国大会で優勝し、各種検定の合格など、今年1年間の活躍などが認められ、全国水産高等学校長協会から「マリンマイスター」の認定証が贈られました。この認定証は、全国で8人が受賞されています。濱崎さんおめでとう!

地域おこし・地域交流イベント

天草西海岸MAF CAMP2014

天草西海岸MAF CAMP2014では、天草西海岸の幽玄かつ美しい自然、豊かな観光資源を最大限に活かし共存する事を目的とし、音楽(MUSIC)やアート(ART)を通して「フェスティバル」という形を使って、“食(FOOD)”、“歴史”、“文化”など「豊かな天草市」を全国に紹介していきます。開催日は、5月24日(土)、旧下田南小学校で開催します。チケットも一般発売が3月15日から開始されました。(下田南地区の方は入場料無料です)市内及び地元の方には、若者からお年寄り、小さな子ども連れのご家族まで、みんなで楽しんでいただく”初夏の祭り”となりうるものを目指していきます。

アコースティック音楽の調べと、天草市内から集まる“天草の食の祭典”をどうぞお楽しみください!

主催：天草西海岸MAF CAMP実行委員会
共催：下田南地区振興会

★お知らせ★

天草ふるさと家族便事業も地域の皆さま、それから私たちの「家族」としてご支援いただきました、出郷者の皆さまのご愛顧のおかげで、5年間継続することができました。地域発展のため頑張っていたいただいた関係者の皆さんも年を重ね、負担が大きくなり、やむ無く昨年10月末をもって、一時休業とさせていただきます。

天草ふるさと家族便事業は地域づくり大賞で表彰されるなど、地域が生き育てた優れたビジネスモデルであると注目されています。充電期間を得た後、体制を整えて、さらに大きく育ち、新たなビジネスを展開して天草の未来に貢献するものと期待しています。

小田床情報板

- 4月
 - 9日(水) …天草小学校入学式
天草中学校入学式
 - 16日(水) …下田南地区振興会総会(予定)
 - 27日(日) ~5月6日(火)
…天草西海岸春の陶器市(GW)
- 5月
 - 4日(日) …ジャガジャガ祭予定(大江お万ヶ池公園)
 - 10・11日(土・日)
…下田温泉祭
 - 18日(日) …天草中学校体育祭

寄附金 ふるさと応援交付金
濱田伸広様
濱田様には、これまで3回のお心遣いをいただいております。温かいご寄付に地域一同感謝申し上げます。

編集後記

◆昨年4月から下田南地区コミュニティセンターに勤務させていただきましたが、会報が皆さまのお手元に届いているころには、早いものでもう丸1年を迎えます。
◆桜の花も満開の頃でしょう。地域の皆様方、各関係者の皆様方には大変お世話になりました。
◆この会報小田床に1年間携わらせていただき感謝いたしております。3ヶ月に1回の発行ですが、すぐに次の会報の準備がきます。月日の過ぎるのは早いものです。
◆寒い冬からやっと暖かい春が訪れようとしております。草花、昆虫、小鳥、動物たちも春を楽しみにしていることでしょう。まだ少し肌寒い日がありますので、風邪などひかないように、地域の皆さまと新年度を迎えたいと思っております。平成26年度もどうぞよろしくお願いたします。

【中上初穂】